



自然と人間社会が共生する只見町

議会だより

No.169

令和4年10月28日発行

2022 OCTOBER



たくさんの笑顔でお出迎え

(表紙の説明は9ページへ)

令和3年度決算をチェック・審査

決算特別委員会 2~5

9名が町政を問う！一般質問 11~20

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ➔



審査!! 決算特別委員会

人口減少・物価高騰
経済の悪化懸念!!
安定的な財政運営が求められる

決算の特徴

令和3年度の一般会計、特別会計を含めた総額は、歳入で87億359万円、歳出85億5055万円で、歳入歳出差引額は1億5304万円となっている。このうち一般会計の歳入歳出決算額は歳入61億9475万円、歳出60億7175万円、歳入歳出差引額は1億2000万円となっている。

財政の健全化を示す経常収支比率や実質公債費比率、公債費負担比率等の数値は健全と判断された。しかし、町税の収入能力、地方交付税に依存する度合いを示す財政力指数は0.25から0.23に減少している。主な事業としては、橋梁長寿命化事業及び公営住宅長寿命化整備事業や町下野球場改修事業、集会施設整備事業、ただみ・モノとくらしのミュージアム施設整備事業があげられる。

監査委員、決算特別委員会からは補助金制度の主旨に沿った適切な執行とその効果および成果を検証すること。また、コロナ禍や人口減少、物価高騰など経済状況の悪化が益々懸念されるため、安定的な財政運営が課題としての意見が出された。

9月13日より3日間、令和3年度決算特別委員会を設置し、主に施策や事業の効果、検証を含め補助金等の適切な予算執行についての意見が出され、本会議最終日の16日に一般会計及び特別会計すべて原案通り認定しました。



令和3年度決算を千エツク

歳入

不能欠損・収入未済額

問 収入未済額が前年より増えている。主な要因は。

答 コロナ禍による

税できないという相談がある。できうる限り納めていただくよう相談対応しているが、厳しい状況である。

問 徴収にあたって、生存権を奪うようなことを避け、国税徴収法に従って生活を維持していくための配慮をしているか。

答 生活に関わるものについては慎重に調査し、差し押さえなどは国税徴収法の例に倣って配慮し進めている。

歳出

報酬

問 消防団員等の報酬の見直しはされないのか。

答 国からの報酬の見直しについては、

の通知もあり、検討している。報酬以外の面も魅力化のため見直しを進めている。

委託料

問 交流施設（季の郷湯ら里）が老朽化してきている。源泉ポンプ、客室の問題等施設を今後どのような方向にしてい

く考えか。



答 源泉も心配するところである。コロナ禍で一人宿泊が多く部屋が満室でも定員は満員にならないなど難しい状況もあり、また財務体質のことなど厳しい状況である。今後テコ入れしていく施設として値するの

今問われている。そのことを一番大事にして、今いる人材を基にし、今後具体的に提案させて頂きたい。

補助金

問 UIターンなど人口減少対策の予算額に対して支出が少ない。人口減少対策は町にとって一番の事案である。継続していく事業であり、利用増の工夫があ

っていかか。

答 最大の課題と捉えている。UI

ターンを増やすための解りやすい情報発信に取り組み、さらに積極的な姿勢で力を入れていきたい。

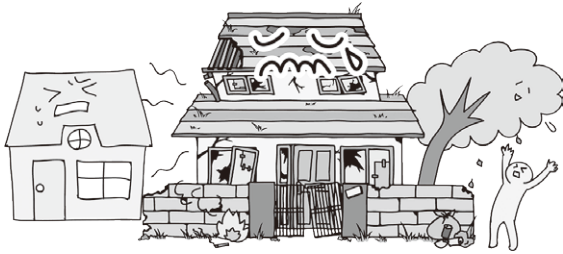
問 補助金等の制度が多く、制度の整理も必要でないか。成果が出ていないという

ことは周知ができていないのでは。

答 制度の数は多いが、それぞれの事業に様々な条件がある。理解しやすいよう周知を図っていく。

問 只見高校振興対策についての予算が大きくなっている。財源として国、県等からの支援はないのか。

答 特別交付税である程度措置をされている。高校の振興対策は特殊財政需要として要望している。



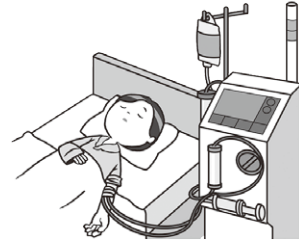
問 只見産米ブランド化事業、生産者の意識が高揚するように取り組んでほしい。

答 食味計で確認、コンテスト等による意識高揚、おいしいコメを作ろうという意識改革、他との違いを見出す努力、ブランド力を上げるよう取り組みんでいく。



問 人口透析患者通院交通費給付費は、何処の病院へ通院されている方も対象となっているか。

答 交通費の給付の方とバス送迎の方がおられる。今後送迎については手厚くしていきたい。



問 ふるさと交流、観光について柏市との関係が希薄になっていないか。

答 交流については、コロナ禍で出張は少ないが、ウエブ会議等で打ち合わせを行っている。観光の面では、市の施設に只見の紹介コーナーを設置して頂き、町も柏市コーナーを設けるなど取り組みを進めている。

令和3年度 各会計決算の議決状況

(千円以下切り捨て)

会計名	歳入	歳出	賛否		
			認定	不認定	
一般会計	61億9475万円	60億7175万円	11	0	
特別会計	国民健康保険事業	4億4081万円	4億4068万円	11	0
	国民健康保険施設	3億9173万円	3億9098万円	11	0
	後期高齢者医療	1億7063万円	1億7040万円	10	1(山岸)*
	介護保険事業	7億7315万円	7億6162万円	11	0
	介護老人保健施設	2億8385万円	2億8371万円	11	0
	地域包括支援センター	1279万円	1279万円	11	0
	簡易水道	1億5253万円	1億5242万円	11	0
	集落排水事業	2億6306万円	2億6237万円	11	0
朝日財産区	2024万円	378万円	11	0	

*認定第4号後期高齢者医療特別会計

討論(討論者)	反対理由
反対討論(山岸委員)	社会保障制度に根本から反する制度であり、高齢者の医療費抑制と健康の自己責任を強いる制度となっているため反対

決算審査指摘事項

— 補助金管理運営を適切に!! —

監 査 意 見

審査実施期間 令和4年8月2日、3日、4日、8日、25日（5日間）

代表監査委員 吉津 文裕 議会選出監査委員 酒井 右一

- ① 委託料及び負担金及び補助金交付金について
委託料、負担金及び補助金は年々増加傾向にある。事業の十分な検討のもと取捨選択を行い、「只見町中期財政見通し」に照らし適切な事業運用を図ること。特に平成26年4月1日に施行された、只見町宿泊・飲食持続化創業支援事業については、成果及び効果の十分な検証がされていないので、制度の主旨を踏まえ適切にその効果及び成果を検証すること。
また、当該事業者の一部に、只見町宿泊・飲食持続化創業支援事業補助金交付要綱及びその募集要項に沿わない事業例がある。これについては別途勧告書により是正を勧告する。
- ② 住民と行政の協働強化について
少子高齢化が極度に進行している。また、人口の減少は予測を上回る勢いで進んでいて、各集落においては社会機能が喪失しつつある。行政と住民の協働がなければ基礎自治体は崩壊する。厳しい現実を回避し社会機能を維持するため、住民自治の強化を図る必要がある。そのため、職員の配置を見直し、住民と行政の協働を強く推し進め、住民自治の強化を図るべきである。
- ③ 人材の確保と住民福祉の充実について
より質の高い「住民福祉の向上」を求めるには人材の確保が重要かつ急務である。特に医療や保育・福祉の現場に人材が不足し業務に顕著な支障をきたしている。為すべき行政に支障のないよう早急に人材確保を行うべきである。そうした場合、本町は経常収支比率が警戒水準に近づいているものの、過去の自治体規模の概念から脱却し、行・財政改革を行い、縮小した現状の自治体規模に合わせた事務・事業を行えば財政指標の改善も見込める。(地方自治法第1条①②)

決算特別委員会意見

— 安定的な財政運営を求め!! —

審査実施期間 令和4年9月13日、14日、15日（3日間）

委員長 小沼 信孝 副委員長 矢沢 明伸

- ① 令和3年度決算書の歳入では地方交付税の占める割合が歳入全体の50.9%を占め、更にコロナ対策としての地方創生交付金など国庫支出金が大幅な減額となり、町税収入等も厳しい状況がある。令和2年、3年度にわたりコロナ禍での生活・経済支援対策として様々な措置を行ってきているが、今後の国からの財源措置は不透明である。さらに、人口減少、物価高騰など経済状況の悪化が益々懸念されるため、安定的な財政運営に努められたい。
- ② 歳出の各款・項目に多くの補助金制度が設けられている。特に監査委員から出された勧告書を真摯に受け止め、各種補助金等の執行については、その効果および成果の評価・検証を常に行い、随時見直しを図るなど制度の主旨に沿った適切な予算執行に努められたい。
- ③ 厳しい経済環境の中、第三セクター等の事業者も経営に大きな影響を受けており、町としては、各事業者の経営状況を把握し、それぞれに合った適切な支援に努められたい。

9月会議 補正・条例改正

条例改正

* 職員の育児休暇等に関する
条例の一部を改正する条例

職員及び非常勤職員が育児休暇を取りやすくなるように条例を緩和。

* 只見町行政機構改革審議会
条例の一部を改正する条例

来年度に行われる行政機構改革の委員13名に関する変更

次年度に向け検討されていくこと

(現行組織) 6課1室12係

(新組織案) 5課2室13係

組織を再編制することで「移住に関わることをワンストップ化」「保育所から高校まで途切れない子どものサポート」などがスムーズに実施できるように検討される。

物価・肥料価格高騰に経済支援策

(千円以下切り捨て)

9月会議は9月7日から16日まで条例改正、補正予算、令和3年度決算審査の審議が慎重に行われました。

* 物価高騰対応生活困窮世帯
緊急支援給付金

462万円

非課税世帯、1世帯あたり7000円を660世帯へ給付

問

困窮世帯へ1世帯7000円の給付をするよりもマイナンバーを取得すれば2万円給付できる。相談窓口を広く開設して、取得したい人が取得できやすくなる取り組みが必要ではないか。

答

そのように努める。

* 肥料高騰緊急対策
事業補助金

655万円

稲作、花卉、振興作物肥料高騰に対する補助

問

肥料高騰支援の金額の根拠は。

答

農林水産省の農業物価統計を元に県が試算した数値が16%の値上がり。その1/3を県が補助をし、町が上乗せ補助をする。



* 町内利用商品券発行事業委託料



4250万円

全町民に1人1万円配布し物価高騰に対応支援、11月1日より利用可能

新型コロナウイルスワクチン接種、新規事業始動

* 新型コロナウイルス
感染症対策事業

235万円



希望者に抗原検査キットを
各振興センターにて無料配布

* 新型コロナウイルス
ワクチン接種委託料

2577万円

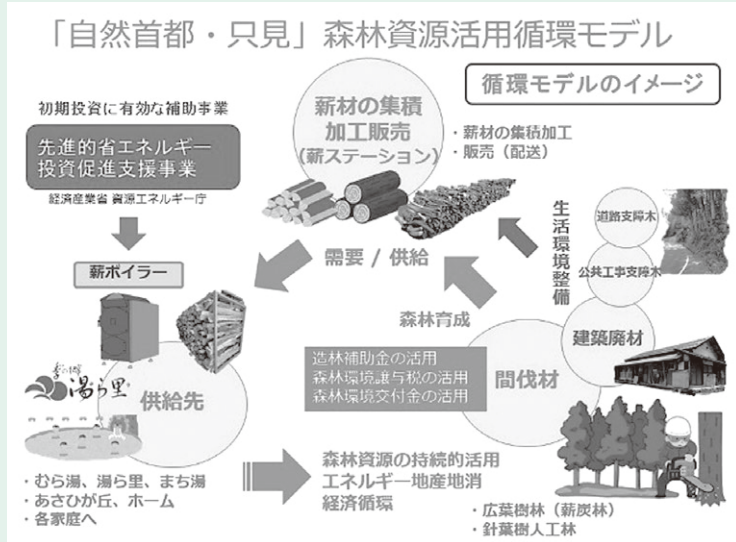


オミクロン株対応ワクチン接種

* 薪ボイラー事業化全体設計業務

化石燃料の依存度を抑え地域の
資源をいかに利用していくか
しっかりとした計画を

440万円



* 地域活性化企業人
提案事業委託料

77万円

只見中学校でプログラミング事業
後、只見町を紹介するHPを新設

* 歳時記会館
無料休憩所整備費

30万円

紅葉シーズンに向け対応



* 映画「瞽女GOZE」
上映会補助金

70万円

問

映画「瞽女GOZE」の上映目的は。

答

社会教育を目的として初日は中学生、2日目は一般
を対象に上映し、映画を契機に町をPRしていく。

* モンベル
キャンプ用品購入費

12万円

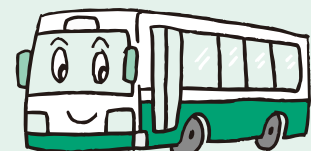
「森林の分校ふざわ」に屋内設置し
冬期間の魅力・誘客強化度をアップ



* 人工透析送迎増加
対応費用

120万円

月曜日から土曜日まで毎日送迎運
行し利用者の増加に対応



総務厚生常任委員会

●朝日診療所医師確保の取り組み強化を求める

1 新型コロナウイルス感染症対応について、第7波の爆発的な感染に町民は不安を感じており、町民に必要な情報の発信を求めた。

2 人口減少対策に関する調査事項に関し、

6月会議以降も町の保育行政の在り方について調査をすすめており、引き続き調査する。

意見 朝日診療所の常勤医師が10月から2名体制となる。応援医師体制を確認したが、「朝日診療所基本計画」では、常勤医師4名としている。町当局は、さらに医師確保の取り組みを強化するよう求める。

朝日診療所の常勤医師が10月から2名体制となる。応援医師体制

を確保したが、「朝日診療所基本計画」では、常勤医師4名としている。町当局は、さらに医師確保の取り組みを強化するよう求める。

経済文教常任委員会

●只見駅前広場現地視察

「歳時記会館」の閉鎖の状況や、周辺に迫った只見線全線再開に伴う「只見駅前賑わい創出事業」の進捗状況を現場視察。また、「自然首都・只見」森林資源活用循環モデルの「薪ステーション」の運営方式等については、今後慎重に調査していく必要があると判断し、この事業は町の約94%を森林が占める当町において重要な案件であると委員会で捉えている。大きな費用がかかることが予想される案件でもあり慎重に調査していく。

「歳時記会館」の閉鎖の状況や、周辺に迫った只見線全線再開に伴う「只見駅前賑わい創出事業」の進捗状況を現場視察。また、「自然首都・只見」森林資源活用循環モデルの「薪ステーション」の運営方式等については、今後慎重に調査していく。



只見駅前広場の進捗状況視察



町民むけ新型コロナの抗原検査キット見本

議会運営委員会

- 8月19日 只見町議会8月会議の開催について協議
- 9月1日 只見町議会9月会議の開催について協議
- 会議日程を9月7日から16日までの10日間に決定
- 諸般の報告、請願・陳情、各委員会所管事務調査報告、各一部事務組合議会報告、一般質問の通告内容、議員提出議案、全員協議会の開催、決算特別委員会の審査について協議、懲罰について協議
- 自由討議実施要綱（案）について協議
- 9月12日 只見町議会9月会議に係る追加議案等について協議
- 委員会審査報告（請願・陳情）について協議
- 古殿町議会運営委員会視察について協議

広報広聴常任委員会

- ① 議会だより169号発行作業（10月28日発行）
- ② 議会広報を通じて町民の方に行政内容が分かりやすく、読んでみたくなる広報誌の発行を目指し取り組んでいく。
- ③ 町民の声を町政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいく。

11月27日(日) 議会報告会を行ないます！

—— テーマ —— 町や議会が望むこと

- 午前10時00分～
只見振興センター
 - 午後1時00分～
朝日振興センター
 - 午後3時30分～
明和振興センター
- ※都合の良い会場に是非お越しください。

一般会議募集のお知らせ

広報広聴常任委員会では町民の皆様からの様々な意見を聴き議会活動、町政に反映し、より良いまちづくりを考える場として一般会議開催の募集をしております。

*テーマ

テーマはまちづくりについてどのような事でも構いません。申し込みの際にお知らせください。

*開催方法

日時・場所については皆さんの都合に合わせて相談させていただきます。

*申し込み方法

議会事務局へご連絡ください。(☎82-53300)

町民の皆さんと議会が一緒になりまちづくりについて話し合ってみませんか！

南会津地方環境衛生組合議会

●燃料費高騰等により、2738万円増額補正

南会津地方環境衛生組合議会は6月29日と8月26日に開会され、6月会議においては、西部クリーンセンター旧焼却炉解体工事が、7590万円での工事請負契約議決と監査委員の選任が議決された。又、8月の定例会議においては、令和3年度一般会計決算認定の他、施策の報告、条例改正、補正予算などの議案が一括上程され、議決された。

令和4年度補正予算では、燃料費の高騰等により、2738万円の増額補正となった。

陳情・請願・意見書

陳情内容 農地・農業用施設等の災害復旧事業等に係る町の支援制度の改善をお願いする件

結果 趣旨採択

理由 近年、農業事情は気候変動などの影響で洪水等による農地、農業用施設への被害が近隣町村含め甚大な被害が発生している。人口減少、高齢化により集落維持機能が低下していく当町において、農地・農業用施設等の補助金や補助率については、「今後、状況に応じた対応をしていきたい」と町当局も回答をしていることから、「農地、農業用施設の支援制度の改善」陳情の趣旨は十分理解できると判断した。当局の意見も踏まえ調査結果として趣旨採択とした。

表紙の写真に想う



10月1日
只見線全線再開通

『おかえり只見線』

11年ぶりの再開通に向け只見小学校の鼓笛隊がこの日のために練習を重ね、すばらしい演奏をしてくれました。列車のトラブルから、到着前の演奏となつてしまいましたが、秋晴れの絶景を走る列車にも演奏は届いたはずですよ。只見小学校の皆さんありがとうございました。

「八十里越」 四年後、全線開通に！

成 期 同盟会

7月19日、只見町と新潟県三条市で構成する「国道（289号）八十里越地点開発促進期成同盟会」が開催され、その中で、来賓でお越しの新潟県土木部道路建設課参事のあいさつで「あと4年後の全線開通を目指し、最大限の努力をしている。」との説明がありました。

解説

「国道（289号）八十里越地点開発促進期成同盟会」では、現場の視察研修の他、令和三年度の事業、決算報告、並びに令和四年度の事業計画、予算案についての議案が、満場一致で議決された。その後、国土交通省長岡国道事務所、新潟県三条振興局地域整備部、福島県南会津建設事務所からの工事進捗状況の説明や今後の見通しの説明が行われた。その中で、「あと4年後となる2026年の全線開通を目指し、努力



新潟側8号トンネル

している。」との説明があった。待ちに待った全線開通がいよいよ現実味を帯びてきた。

南会津地方町村 議会議員大会

7月5日、只見町「季の郷湯ら里」において南会津地方町村議員大会が開催され、郡内各町村の要望事項が議決されました。

当町要望は酒井正吉郎議員が、「八十里越」の開通に向け、周辺道路未改良区間の整備促進と、県道「小林・館ノ川線」の未改良区間の整備と通年通行の確保を強く要望し、満場一致で議決されました。

道路整備を強く要望！



下記の事項を要望した。
又、県道の「小林・館ノ川線」は、289号線の大切な迂回路であるばかりでなく、町内の集落を結ぶ重要な生活路線でもあるため、防雪施設の整備を進め、通年通行の確保を図ること、小林〜亀岡間の未改良区間の早期改良を要望した。

から長浜杉沢地内、黒谷化ヶ地内の改良整備、明和橋の早期架け替え整備
* 叶津地内の289号をまたぐ鉄橋下部、叶津から只見駅前までの未改良部分の整備促進
* 入叶津から只見区中心部へ抜ける「只見トンネル」の早期実現
県道小林・館ノ川線
* 小川〜荒島間、荒島〜熊倉間の防雪施設整備と通年通行の確保

解説

国道289号「八十里越」の開通後の交通量増加を見据え、歩行者や住民の安全確保のため、歩道の未整備区間や、道路幅員が狭い区間があることから、

要望箇所

国道289号「八十里越」
* 大倉字礼堂地内から湯ら里入口、深沢地内整備

各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！
*注 2名が一緒の録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

一般質問

- 酒井正吉郎……………12
目前に迫ったJ R只見線の再開通後の対応策について
- 小沼 信孝……………13
物価高騰への経済支援策は
- 矢沢 明伸……………14
住民の安全、安心のための防災対策を
- 酒井 右一……………15
只見町の将来像について
- 鈴木 好行……………16
田子倉ダム周辺の観光開発は
- 齋藤 邦夫……………17
行政改革の狙いと取り組みは
- 菅家 忠……………18
町民の声のゆくえについて
- 三瓶 良一……………19
只見線全線再開通と賑わい創出事業について
- 中野 大徳……………20
農業施策について

町政を問う

町を想い9名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

目前に迫ったJR只見線の再開通後の対応策について



さか い しょうきち ろう
酒井正吉郎 議員

答 まず、駅前賑わい創出事業で対応を

問

賑わい創出事業の進捗状況は。

答

第一施設の会津ただみ振興公社が8月30日に、物販事業、総合案内、軽食の提供を開始し、第二施設の(台)ねっかと(有)セイワ電子が10月1日の再開通に合わせておもてなしの体制を整えている。

問

只見駅の複合施設化について

答

JR東日本と機能などの整備内容、場所、用地取得、整備スケジュールにつ

いて協議を継続している。但し、整備にかかる費用負担は全額町側になる可能性もあり、この点を重点に協議を進めている。

問

お客様の只見駅下車からの「観光施設」へのアクセス

対策は。

答

タクシーの利用、電動バイクの貸出し、定期路線ワゴン

「自然首都・只見号」で

の移動や民間レンタカーの案内等により対応している。

問

オール奥会津の近隣町村との連携は。

答

只見川電源流域振興協議会や只見川ライン観光協会など、その他地域づくり

としての広域観光推進事業等について、検討・情報共有を行っている。



「おもてなし」の只見駅前広場

湯ら里のリニューアルについて

答 現有源泉の保全と効率的な活用を図る

問

旅行ニーズの多様化への対応策

答

観光情報入手がSNSへと主流

となっており、只見町の特徴を魅力として提供できる商品化が必要と考え取り組んでいる。

問

源泉井戸の不具合に対する対応策は。

答

できる限り現有源泉の保全と湧

出湯の効率的な活用を計りながら、経営状況を向上させ、投資するに値する施設であると認めていただける環境を作った上で進めていきたい。

問

薪ボイラーの導入について。

答

4月に薪エネルギー推進室を設置し、勉強会や先進地

視察を行い、「自然首都・只見森林資源活用循環モデル」として全体像をまとめ、薪ボイラー事業化全体設計業務委託料の予算をお願いし、実現に向けて前進したいと考えている。



物価高騰への 経済支援策は

答 国・県の対策も踏まえ対応したい

問 物価高騰、燃料、電気料値上げで生活に影響が出ているが効果的な支援策を考えているか。

援を考えている。

農業関係でも、肥料価格高騰に対する県の補助に町で金額の上乗せをして支援していきたい。商業関連として、町民一人当たり10000円の商品券を配布したいと考えている。

答 福祉関連では住民税非課税等の制限などあるものの高齢者、障害者、ひとり親世帯を対象に一世帯当たり7000円の支

問 燃料、物価高騰は各事業者も大変であるので、現状を聞き取りして対応策を検討されているのか。

事業者の聞き取りは行っていない。集落座談会を通じて話は聴いているが、対象の方々にあらゆる場面を捉えて話を聞くべきだと思う。

答 事業者の聞き取りは行っていない。集落座談会を通じて話は聴いているが、対象の方々にあらゆる場面を捉えて話を聞くべきだと思う。

問 農業支援の肥料高騰は現在も進んでいると思うので、町独自でも来年度も継続していったほしい。

答 国、県の政策を含め、町がどのような政策すれば対応できるのかしっかりと踏まえ考えていきたい。

問 燃料費高騰特に灯油価格の上昇に対して、商品券配布の他に昨年も実施支援されたプレミアム商品券の追加販売にプレミアム率を30%にアップ

答 燃料費高騰特に灯油価格の上昇に対して、商品券配布の他に昨年も実施支援されたプレミアム商品券の追加販売にプレミアム率を30%にアップ

してお得に購入できるような支援をして、一昨年前の燃料価格並みで購入と同等になるような支援策をぜひ検討していただきたい。

答 商工会も含めまして検討をさせていただきます。

問 プレミアム商品券支援についてですが、販売の方法などいろいろあると思いますが、ぜひ町外者の購入に対して制限をかけずに、旅行に来た方などにも購入していただき、宿泊、お土産、観光に利用して頂き、町外の方にも購入して頂き、町にお金を落とすとして頂く施策を。

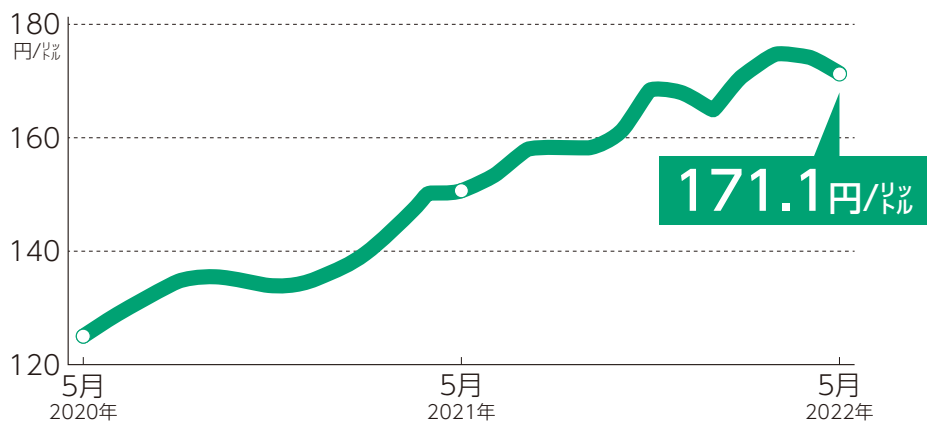
答 来年度に向かって様々な角度から検討をさせたいと思います。

問 来年度に向かって様々な角度から検討をさせたいと思います。

答 来年度に向かって様々な角度から検討をさせたいと思います。

答 来年度に向かって様々な角度から検討をさせたいと思います。

レギュラーガソリン価格の推移 (全国平均価格)



資源エネルギー庁の資料から作成

2年間で約50円値上がり



お ぬま のぶ たか
小沼 信孝 議員

住民の安全、 安心のための防災対策を



あきののぶ
矢沢 明 議員

答 常日頃からの備えが重要と認識

問

近年の豪雨災害はいつどこに起きてもおかしくない状況である。以前の災害を検証し住民の安全確保対策が必要と考える。また、8月上旬に青森、山形や会津北部地域が線状降水帯による豪雨で甚大な被害を受けた。改めて、防災対策についてどのように考えるか。

答

一歩間違えばどの地域も同様な状況となってもおかしくない。10月1日に只見線が再開通する中、11年前の災害を思い起

している。消防団は大切な組織であり、常に意見交換を行い活動が充実できるよう支援に努め、常日頃から備えを怠ることなく「常在戦場」としての考え方をもって防災対策に取り組んでいく。

問

河川等に設置し水位計などの河川の水位情報がスマホ等で見られる。このような情報を消防団等でも状況把握のために活用すべきでないか。

答

消防団の会議等の中で情報共有を図り、浸透させたい。

問

只見町ハザード想定区域、増水氾濫区域が多数ある。只見地区の左岸は以前から内水氾濫等懸念されている地域で、排水ポンプが設備されているが水

位センサーの設置など検討されないか。

答

排水ポンプには容量もあり、すべての内水を排出は困難。今後行われる圃場整備事業と絡めた形で検討していくこととしており、また只見川左岸の築堤計画と合わせその点も県に要望していきたい。

問

只見町国土強靱化計画として、強くしなやかなまちづくりとしてリスクシナリオなど事前に備える目標を設定し、各課の施策を防災での視点で策定されている。平時の中で各課が横断的に情報共有していくことが重要でないか。

答

計画が周知、機能していくことが大事である。あらゆる機会をとらえ周知徹底を図り共通理解に努めていく。



多発する豪雨災害 平時の備えが重要

只見町の 将来像について

答 行政改革を進め総合計画を作る

問

町は人口が激減した。こうした中、事業所や役場、各分野で人材の確保が難しくなっている。更に町の財政も逼迫した状態になった。(下記資料)人口はさらに減少する。このままでは町を維持できない。これまで振興センタ

ーを中心に地域住民との協働を進め地域づくりに力を入れてきた。しかし、各集落には高齢者が増え、若い者や子供がいらない。役場が遠い存在になっている。地域住民の方々と各種の団体と協働して、役場の力が及ばない分野を補い合うことが必要

ではないか。(住民自治の高揚)

答 人口減と財政の問題には危機感を持っている。

行政改革を進め、町の人口や財政規模に沿った総合計画を作る。厳しいが、数値目標を絶えずチェックし、自らを叱咤していきたい。また、来年は地域住民との共同を総務企画課に移す。さらに中央公民館方式を取り、包括支援体制を作る。そのために今の役場の組織体制を刷新する。

問

人口減少を止めるには子ども、子育て支援策が必要だ。町保育所条例では「乳幼児・児童が入所できる」とある。いま、保育所は入所定員を満たしていないが入所できない乳児がいると聞く。過酷で悲惨な乳幼児の死亡事故も起きて

答

即答はできないが検討したい。

いる。昨今、子ども・子育て支援の取り組みが弱いのではないかと。町条例や「子ども・子育て支援事業計画(下記参照)」を実現するには、保育士など人材の確保が極めて重要だ。また、子育ての環境が変わったいま、40年以上、昔の保育所建物では政策を実現できない。認定こども園・地域型保育事業所として、条例や事業計画に沿う保育所に建て直してはどうか。



さか い ゆう いち
酒井右一 議員

区分	人口	財政力指数
1965年頃の人口	約13,100人	約1.40
2022年7月人口	3,844人	0.23

・財政力指数とは？
1.0以上が豊かであり、地方交付税が必要ない時代もあった。

・子ども・子育て支援事業計画？
只見町が作った子育て支援計画書

田子倉ダム周辺の 観光開発は

答 第三セクターの組織充実を図る



すずき よしゆき
鈴木好行 議員

問

旅行村改修工事の際に、旅行村を中心とする宿泊・滞在・体験拠点の整備をして、旅行村・只見湖・田子倉湖をアウトドア観光のベースキャンプにするとの説明があった。今後の計画は。

答

第三セクターの改革を進め、組織体制の充実と着地型観光プランの充実を図る。

問

只見ダム湖畔の只見ダム湖の歳時記念館が力のかかったまま、閉館状態にある。JRR只見



観光プランの構築が待たれる只見ダム

答

見線の再開通や紅葉シーズンを前に、何らかの形で開館すべきだ。マイナスイメージを持たれないように、急ぎ対応したい。

問

只見駅、会津蒲生駅、会津塩沢駅周辺の観光整備をどのように進めるか。

答

只見駅は三石神社を中心とした観光スポット化を進め

答

ている。会津蒲生駅、会津塩沢駅では副駅名の公募を行っており、更なる駅の魅力向上を図る。会津蒲生駅、会津塩沢駅において、駅待合室の清掃、周辺の草刈りや冬期間の除雪体制をどう考えるか。

問

県が管理をJRRや地域に委託して実行すると理解しているが、細部については今後打合せを進める。現在、町内の宿泊施設は仕事関係のお客が多く、観光客の受入れ体制が十分でない状況にある。今後の受入れ体制をどう整えるか。

答

宿泊・飲食事業者持続化創業支援事業等の過去の取り組みを踏まえ、今後の施策を検討する。

問

冬期間の誘客をどのように考えるか。

答

雪まつりだけでなく、観光施設やスポットの魅力化を図り、冬期誘客を進める。

問

今後の観光交流人口数の目標は年間何人か、又目標達成のために考えることはなにか。

答

大事な視点は来訪者数だけでなく、経済効果・マーケティングの視点と考える。今後調査を進める。



行政改革の 狙いと取り組みは

答 町政課題に対応した改革推進

問

国内外の動向が本町経済や町民生活にも影響を及ぼしている。念願であった只見線の全線運行、国道二八九号県境開通を数年後控え、町民は大きな期待を持って町政の進展を見守っている。厳しい環境の中で新たなチャンスを活かし町

政の課題解決を図るため、新たな行政改革の狙いと取り組みについて町長の考えを問う。

答

只見町を取り巻く環境を的確に捉えて、その時代に即した効率的な町行財政改革を進めるため絶えず見直しが必要とされている。行政組織機構



問

第四次行政改革大綱の実績と評価はどのように捉えるか。第五次行革の素案は三つの柱と十五項目の方針を示されて分かりやすい。仕事の改革・改善の基本は「良い仕事を、より早く、より安く行うための運動」であり、成果を上げるには可能な限り数値目標や工程表を示し、職員意識の高揚と工夫が必要と思う。

答

第四次計画では公共施設のマネジメント、第三セクターの健全化など反省点を踏まえて検討してきた。計画は具体的で明確であることが望ましいが、厳しい意見も覚悟のうえで極力数値目標を出せるように努力したい。また、私のスピード感と職員個々の認識に差異が生じることもあるが庁議等、あ

らゆる機会を捉えて職員
の理解と意識高揚に
努めていきたい。



さいとうくにお
齋藤邦夫 議員

の主な検討内容は、①移住・定住・交流の強化、②産業間連携・産業振興の強化、③情報発信力・機能の強化、④地域包括支援の強化、⑤幼児期から一貫した子育ての推進、⑥中央公民館の設置など、また、町民の身近なものでは簡易水道・集落排水・町営住宅を一係内での完結、子育て業務は、乳幼児期から高校まで継続したサービス提供を目標に検討し、限られた財源や人材の中で、複雑多様化する行政需要に対応した改革を進める。



町民の声の ゆくえについて

答 庁内で情報共有し対応している



かん け け け け け け け け け け
菅 家 忠 議員

答 真摯に対応している。町の寄せられた声は内容が多岐にわたりデリケートな

問 町民からの声についているか。誰が言っているかではなく、何を言っているかが大切で、社会的立場の違いによって対応を変えるものではない。町民の声は町の財産であり、いつでも、どこでも、だれでも見ることででき、その声をごまかすまで進んでいるのかを公開するべきと考える。

部分もあることから、公表は行っていない。今後、公表のあり方を検討し情報公開に努める。

問 原地区の教員住宅は、玄関から除雪路線まで2メートルある。只見町冬季孤立住宅解消事業の対象要件は何メートルか。

答 20メートルである。

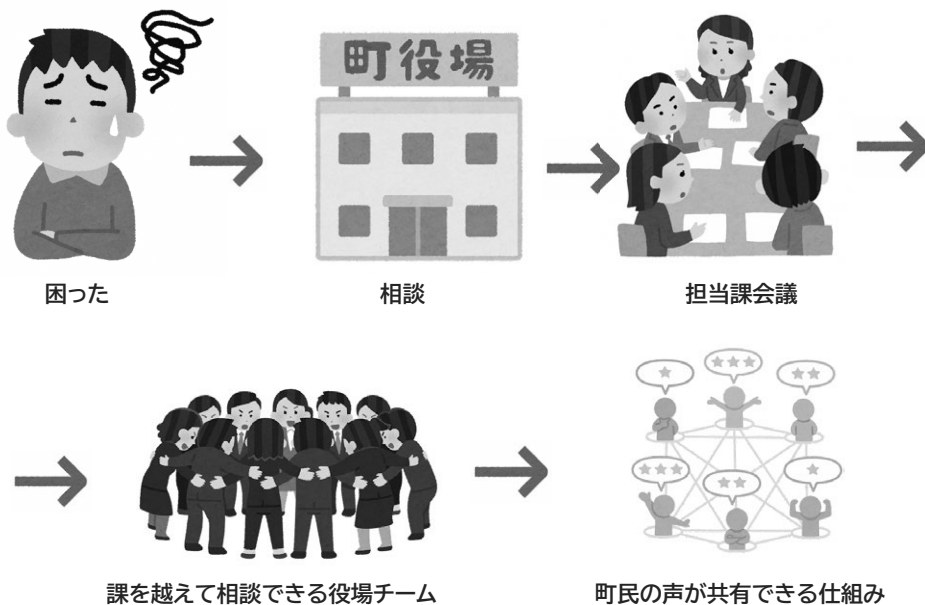
問 町所有の建物が対象要件に当てはまっている。にも関わらず何年も手を付けていないのが現状である。何十年も除雪に苦労している住民の声はどこにいったのか。昨日「声がないからニーズがないのではない」と町長答弁があった。今回は「声もあり、ニーズもあり、制度の正当性もあり、未来の住民のためにも必要」と捉えている。再度伺

うが町は本件に真摯に対応していると考えているか。

答 改修工事を当初予算で上げる計画をしていたが、状況を吟味して対応するために9月での補正対応となった。

問 私は公平公正な社会を目指したい。大切なことをブレずに仕事をしている大人はかっこいい。かっこいい大人が只見町にいることが、一旦外に出た子どもたちが町に帰ってくる時の大きな要素になると考えている。大きな声も声なき声もしっかり受け止め、課を越えてみんなで解決しようという組織体制を望む。

答 反省しなければならぬ点も含め、職員とともに精進していく。



只見線全線再開通と 賑わい創出事業について

答 只見駅の複合施設整備を進めていく

問 只見線全線開通が間近になった。

受け入れ準備が遅れていると思う。只見町は奥会津観光の顔として中核的な役割を果たすべきだ。只見駅の複合駅舎化も急ぐべきだ。

答 当町は奥会津観光の顔として、

中核的な役割があることは議員と同じ認識だ。

現在の賑わい事業は全線再開通に合わせた対応だ。今後継続して只見線の利活用、只見線を起爆剤とした地域振興を目的に、只見駅複合施設整備を進める。

八十里開通に併せた只見観光発展の第一歩と位置付けるべきものと考えている。

問 道の駅とJR只見駅舎がドッキングできれば全国初の試みとなる。立地的にもこれ以上の場所はない。新聞、テレビ等も大きく報道し宣伝効果が期待できる。早期実現を進められたい。

答 複合駅舎と道の駅のドッキングの提案は、駅と国道252号、289号の交

差点とも近く立地的に恵まれた場所だ。只見駅複合施設を道の駅的な機能を有する施設として整備したいと考えている。

問 役場庁舎は只見町のシンボルだ。自然首都に相応しい庁舎が求められていると思う。八十里開通に間に合うように年次計画をたてるべきだ。

答 現状はあくまでも暫定移転だ。

今後は役場庁舎機能の一つにすべく検討しなければならぬ。今後駅前複合施設、湯ら里等の大規模事業の年次計画が必要だ。

問 JR代行バスは川口から只見間で6本運行されている。全線開通すれば終了する。若松方面からの列車利用客は川口駅で足止めになる恐れがある。対策を問う。

答 現状の3本では不十分だ。観光路線としてはおっしゃられる事は必要だ。10月1日には間に合わないが、早期実現に向けて要望活動を進めたい。

役場庁舎は只見町のシンボルだ。自然首都に相応しい庁舎が求められていると思う。八十里開通に間に合うように年次計画をたてるべきだ。



さん べりょう いち
三瓶良一 議員



複合化が待たれる只見駅

農業施策について

答 効果的な施策となるよう努める



なか の たか のり
中野大徳 議員

問 町内農家の戸数
の推移、年齢構
成は。

答 農林業センサス
による町内総農
家数は、2010年7
03戸2020年43
5戸と大きく減少して
いる。年齢構成につい
ては、60代24・9%、
70代26・8%、80歳以
上16・9%となってお
り、生産年齢人口に当
たる65歳未満は、40・
3%となっている。戸
数については、高齢農
家のリタイア等による
農地の集約化、大規模

化が進み、直近10年間
は人口減少を上回る率
で減少している。年齢
構成については、若年
層の農業参入も見られ
るが、高齢化が顕著
となっており、新たな
担い手確保のため、移
住・農業フェアなどに
参加している。

問 効率化・所得向
上の施策は。

答 町の基盤産業で
ある農業が職業
として選択し得る魅力
とやりがいのあるもの
となるよう、効率的か
つ安定的な農業経営に
向けて「農業経営基盤
の強化の促進に関する
基本的な構想」を定め、
町における主要な営農
類型、経営規模等を示
し取り組んでいるとこ
ろだ。稲作農業につい
ては、コロナ禍による
米価下落やウクライナ
侵攻等に起因する肥料
高騰など、取り巻く環

境は厳しいものがある。
米価下落に係る次期作
支援として種籾の助成
、農業機械の購入補助
、農業用施設集落補助金
の補助率引き上げに取
り組んできた。肥料高
騰対策として、県で実
施する補助金に上乘せ
する支援をすることと
し、補正予算を提案し
た。希望される集落に
おいては圃場整備も進
めており、今後も状況
を踏まえ、効果的な対
策を検討していく。美
しい田園風景を守って
いくため農家が果たす
役割は大変大きいもの
と考える。



刈取の様子と集積される只見産米



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.33



アカショウちゃん

「質疑」と「質問」って どう違うの?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

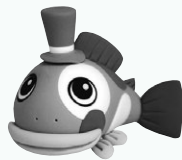
今回は、「質疑」と「質問」の違いについて、議会議長に聞いてみました。



ブナりん 議会がよく「質疑」「質問」ということばを聞くけど、どこが違うの?

議会議長 「質疑」と「質問」どちらも疑問点を聞くけど、言葉が似ているのでわかりづらいよね。この二つの言葉を議会では使い分けているんだよ。

イワっぺ 「質疑」と「質問」はどんなふうに使っているの?



議会議長 「質疑」は議題となっているものについての疑問点を聞くことで、本会議や委員会での議案や審査の時、賛否の態度を決定するように行うものなんだよ。

「質問」は一般質問など議員が町政一般に関することについて疑問点を聞き、町政に関することであれば何でも聞くことができ、意見を述べることもできるんだよ。

【一般質問は、定例会が始まる前に質問内容を通告しておかなければなりません】



アカショウちゃん じゃあ「質疑」のときは、質問と同じように何でも聞いていいの?

議会議長 「質疑」は議案に関係ないことや自分の意見は述べることができないんだよ。

ブナりん 自分の意見を述べられるのって、限られるんだね。

議会議長 議題となっているものに自分の意見を述べるときは、「質疑」の後の「討論」でできるんだよ。

イワっぺ これからも活発な「質疑」「質問」を行っていただき、住みやすい町づくりのため取り組んでくださいね!



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



若者たちの目線 vol.33

只見町って
なじよだよ?

只見について思うこと



只見中学校

2年 船木 翔空

私はこの町が大好きです。人々が助け合い素晴らしい町作りをしていると思うからです。

ここからは、私が思う只見町の良いところについて書きたいと思います。一つ目はやはり自然です。一年中美しい自然で、見ていると心が安らぎます。二つ目は只見線です。今年の十月、約十一年ぶりに運転が再開します。私は乗ったことがないので、いつか乗りたいです。

他にも良いところがたくさんある只見町。私も町民として、より良い町になるように今できることを頑張りたいです。

ひと言

只見の自然は世界に誇れる自然。町民みんなの自慢だよ。

JR只見線、車窓から見る只見の自然もきっと新しい発見があると思うよ。是非、乗ってみてね。

只見町の発展のために



只見中学校

3年 大竹 蓮斗

只見町は、人が温かく、自然が豊かという良い一面があります。ですが、現在少子高齢化が著しく

進行しています。そこで私は、只見町の人口を増やすため、まずは観光客を増やすべきだと思います。そのために、只見駅前に道の駅をつくることを提案します。我が町只見には、他の市町村にも誇れる伝統的な特産物があります。また、十月一日には只見線が十一年ぶりに全線開通します。そ

れに伴って只見町に多くの観光客が訪れると予想されます。このことから、道の駅をつくることで町の活性化につながると思っています。

ひと言

只見町の発展には観光誘客は欠かせない。全国に約1200程有る道の駅、『また訪れたい』と思って頂ける、只見らしい道の駅を創ることが大切だね。

編集後記

JR只見線が10月1日、11年ぶりに全線再開通し、町民はもとより多くの鉄道ファンから喜びの声援が送られています。少子高齢化対策が町の課題となっているもとで、喜びとともに今後の町の活性化に寄与する取り組みが求められています。

物価高騰・異常気象・5月以降の新型コロナウイルスの感染拡大など生活に大きな不安を抱える状況が続きました。只見町の活性化と町民の皆さんの健康・生活の向上のために、議会の果たす役割は益々重要となっておりと認識しています。

広報広聴常任委員会の研修も豪雨の影響で計画変更を余儀なくされましたが、研鑽に努め、引き続き分かりやすい議会だより編集に努めてまいります。

(山岸 国夫 委員)

発行責任者

議長 大塚純一郎

広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

委員 矢沢 明伸

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp